

ぼくは、さくらの木の さつくら

福岡県篠栗町
篠栗町立勢門小学校4年

藤川 映生

「おはよう。」

今日も元気な勢門小学校の子が登校してきた。ぼくの名前は、さくらの木のさつくらだ。まだ6さいだ。

ぼくには、仕事があつてそれは、春になったらみんなにきれいなさくらをみせることだ。だけど、みられている時は、うれしいけどやつぱりちよつとはずかしい。ぼくは、友達がいてその名前は、うめの木のうめきくんだ。ぼくは、いつもうめきくんとにらめっこをして遊んでいる。うめきくんはぼくの反対だからいつ

もみあつてゐる。うめきくんは、にらめっこが強い。だからいつも負けている。そして負けた時はいつも、「くやしい。」

と言つて泣いてゐる。たまに、けんかもする。その内ようは、どちらの花がきれいかでけんかをしてしまう。

けんかをやつた時は、元気に登校してくる勢門小学校の子どもを見ると心がおちついてどちらもあやまつてなかなかおりをする。ぼくが一番きらいな季節は、春だ。なぜかというと、ぼくには、さくらの花がさいて、うめきくんには、うめの花がさいて、またけんかをしてしまう。だけど、ぼくは好きな季節もある。それは、秋だ。なぜかというところちよつと寒いけどすずしいのと、勢門小学校の子どもたちが持久走をがんばつ

て走つてゐるからだ。子どもたちは、きつくてもがんばつてゐるすがたをおうえんするのが好きだからだ。

ぼくには、好きなことがある。それは、山をながめることだ。いつもおこつたり、かなしいこともあるけれど山をながめてゐると、こころがほつとして、落ちつくからだ。

ぼくには、勢門小学校の子でいろいろな人もゐる。その人は、なか庭にごみを捨てていたり、なか庭にゐるぼくと、ぼくの友達のうめきくんをけるひとだ。ぼくは、けられるとかなしくなつて泣きたくなる。だからみんなには、そんなぼくたちをいじめめるような、ひどいことをしないで、元気な小学生になつてほしいとぼくは、願つてゐる。